

◆司会

それでは、ただいまから市長定例記者会見を始めさせていただきます。  
市長よろしくお願ひいたします。

◆市長

よろしくお願ひいたします。今日の案件、新型コロナワクチン接種に向けた準備状況についてでありますけれども、今月初めはずいぶん数字が落ち着いていましたが、ここ2、3日新規の感染者がまた出てきていて、予断を許さない状況でありますので、ここでもう一度気を引き締めていかなければならないと感じておりますが、本日は接種に向けた準備状況について報告をいたします。

皆さんに多く報道していただきましたが、今月、13日の土曜日、集団接種会場でのシミュレーションを行いました。課題が抽出されました。着々と準備を進めております。また70万人の大きな都市ですので、やはり接種率を上げるために、いろいろな工夫をしていかなければいけないと思っております。本市独自の取組も計画をしておりますので本日正式に発表いたします。

まずはワクチン接種のスケジュールについてです。来月5日から23日の間に国から静岡県の方へ、まずは高齢者向け約2万回、1万人分が出荷される予定であります。県からは県内35自治体、高齢者の人口比で案分をしていく、という方針が示されたところとなります。その結果、静岡市では約4,000回分、2,000人分のワクチンが供給されることとなります。この量は本市の要する高齢者約22万人の1%弱の量です。そこで、静岡市では、まずは施設でのクラスター発生防止を重要視するという観点から、高齢者施設に入所されている市民の皆さんから接種をスタートしていくことにしました。それは例えば介護療養施設とか老人保健施設など医師が常駐している、そして万が一調変化が起こった場合に迅速に対応できる、そんな環境もとの施設で4月12日の週より順次接種を開始していきたいと考えています。そのあとに施設入所をされている皆さま以外のご高齢の皆さん向けに、4月の下旬から接種券を発送できるよう準備を進めております。今後ワクチンの供給量がどのぐらいになるかにもよりますが、例えば年齢の高い順に、まず80歳以上の方、次に70歳以上の方など区切りを付けて順次発送することも今検討課題にのぼっております。

そして、接種率を高めるための本市独自の取り組みとしてワクチン接種移動支援事業を実施します。これは少し、これまでもこの会見の場でもやり取りがありましたけれども、65歳以上の高齢者の市民の皆さんに対しては接種会場、これは個別であっても集団であっても接種会場までタクシーの移動でらくちんという触れ込みで、らくちんタクシーサポート、略称、らくタク事業という愛称を付けて実施を決定いたしました。ぜひ、タクシーを活用していただき、接種会場までのタクシー運賃の一部として一乗車500円、往復接種2

回分で最大2,000円を助成することにいたしました。

そこで、タクシー協会の皆さんとの協力のもと、これ、全国的にも珍しい取り組みであります。ワクチン接種とタクシーの予約を同時にできる、そういう仕組みを構築しました。ですから、高齢者の皆さんはワクチン接種のコールセンターまたは予約サイトから、接種とタクシーの予約とワンストップで両方の予約手続きを完了していただきます。そして、さらに、予約していただくと接種日にはご自宅の近くのタクシー会社からタクシーが配車されるという段取りになるわけですが、接種の前日に、そのタクシー会社の方から、「明日は接種日です。何時ごろ迎えに行きます」という電話での連絡が入るような、そんなサービスも提供いたします。もとより、この事業はコロナ禍で厳しい状況にあるタクシー業界へのサポートにもなっています。ぜひ、会場が近いからワンメーターで済んでしまうからといって遠慮していただく必要はありませんので、ご高齢の皆さん、予約がらくちん、移動がらくちん、支払いがらくちんという、らくタク事業をぜひご利用ください。

以上、現時点での静岡市のワクチン接種に向けた準備状況について発表させていただきましたが、冒頭申し上げましたとおり、直近1週間の10万人当たりの新規感染者数、昨日までの1週間、3月18日から24日は4.8人となりました。その前の週、1週間は0.58人ありますので増えています。年度の切り替えに伴い人の動きが活発になり再び感染者が増加することを懸念しております。桜が開花して本来ならば心うきうきする季節ではありますが、もう少し、そのところは引き続き感染防止対策の徹底にご協力をお願いしたいと思います。私からは以上です。

#### ◆司会

それでは、ただいまの発表につきまして、皆様からのご質問をお受けしたいと思います。NHKさん、お願いいたします。

#### ◆NHK

NHKです。高齢者の優先接種について、もう少し伺います。まず、言葉ですが、市長、介護療養施設とおっしゃったのは医療法に基づく介護療養型医療施設のことと理解していいですか。

#### ◆市長

そうです。医師が常駐しているのでアナフィラキシーにもきちんと対応できることから最優先でいこうという考え方です。

#### ◆NHK

介護療養型医療施設と老人保健施設で？

◆市長

そうしたら保健福祉局、ちょっと補足をお願いします。

◆保健衛生医療統括監

保健衛生医療統括監です。よろしくをお願いします。今、お話し出たように両方の介護医療施設、療養の対応ができるところ、それから介護保険での制度の施設、両方とも対応しようと考えているところですけど、その中でも医療従事者が施設にいる所をまずは優先して、検討しているところです。

◆NHK

まず入所のみですか。通所は含みますか。

◆保健衛生医療統括監

まずは入所施設を優先しています。

◆NHK

だとすると市内の入所者、何人対象者いると見込まれていますか。

◆保健衛生医療統括監

おおむね今2万人ぐらいが対象の施設になろうかなと思っています。

◆NHK

この2万人の中での優先順位はどのように付けられるのでしょうか。

◆保健衛生医療統括監

今言ったように、まずはワクチンの供給量にもよりますけれども、施設の中での医療従事者の配置、あとは入所者の数、そのへんを考慮しながら、あと施設と調整をしながら、これから決めていこうとしています。

◆NHK

対象となる施設の医師がいる施設の入所者が2万人で、その中で2,000人分だとすると…

◆保健衛生医療統括監

すいません、医師がいる施設が2万人というわけではないです。入所者全体が2万人ということになりますので、また細かい数値については所管のほうからまた調べさせます。

◆NHK

今、いただけませんか。

◆保健衛生医療統括監

所管、細いのがわかれば、またあとで出します。

◆NHK

会見中でも結構ですので、わかったら教えてください、というのとあと4月の12日の週から接種して3週間後に、もう2回目打つかとなったらゴールデンウィークですけれども、これは施設であればお医者さんに出てきてもらうということで支障はなさそうなんですか。

◆保健衛生医療統括監

そのへんも含めて施設のほうと対応ができるところを調整しているところです。

◆NHK

そういった2回目接種が適正な時期に対応できるかどうか優先で考慮するときに計算すると。

◆保健衛生医療統括監

そうです。

◆NHK

わかりました。あとタクシーのほうですが、予算措置は予算総額、いくらを見込まれていて、その措置はどういうふうに確保されるのかを教えてください。

◆司会

少しお待ちください。

◆交通政策・Ma a S担当部長

予算規模に対しては約2億円の規模で考えております。第1期の接種対象者、先ほどありましたけど、22万人のうち接種率70%目標にしている中で、その約半分ぐらい、タクシーを使っただけならなという想定のもとに予算措置しております。交付金事業で。

◆NHK

交付金っていうのは国のコロナ交付金で？

◆交通政策・Ma a S担当部長

そうです。

◆NHK

予算としては当初予算の予備費とかですか。なんでしょう。

◆交通政策・Ma a S担当部長

当初予算、交付金事業のコロナ対策の枠の中で動いていると…

◆NHK

全額をそこから当てるとのことですね。

◆交通政策・Ma a S担当部長

はい。

◆NHK

わかりました。これは密対策というよりは駐車場の混雑対策と理解したらいいですか。

◆交通政策・Ma a S担当部長

そうですね。それも一つ全くもって。接種会場に集中してしまいますとかなり周辺の混雑も予想されますし、個別接種会場も静岡市の場合、用意しておりますから、そうするとある程度身近な所にもあるということで、ぜひ自宅から接種会場までドア・ツー・ドアでということで高齢者ということもあって、こういう支援事業を考えました。

◆NHK

タクシー業界からのタクシー利用促進策としても、やってくれみたいな要望ってあったんでしょうか。

◆交通政策・Ma a S担当部長

ええ。先ほど市長の方からもありましたけれども、タクシー業界もこの緊急事態宣言が出て、さらに営業のほうも悪化してきているということも含めまして、そのへんの需要喚起みたいところ、ワクチン接種ということで人が動くということで、効率的にそれも処理していただけるのはタクシー業界と協力をして、ということでやっております。

◆NHK

わかりました。ありがとうございます。先ほどの数字はわからないですか、まだ。じゃ、後ほどお願いします。ありがとうございました。

◆司会

そのほかいかがでしょうか。では、発表項目につきましては以上ということで、続きまして幹事社質問のほうに移りたいと思います。中日新聞さん、よろしくお願ひいたします。

◆中日新聞

よろしくお願ひします。2つあって、ひとつはさっきのに関連して、新型コロナウイルス対策なんです、市のほうでも先日、ワクチン接種の訓練を実施して、市長も参加されたと思うのですが、その中でどんな課題があって、それがどう解決していくのか、もうすでに解決できたのか、これから解決する問題が何かあるのか、そのへんを教えてください。

◆市長

先日の訓練の大きな目的は、予診と接種を同時にやるべきなのか、別々にやったほうがいいのかということを検証するということにありました。その結果、参加した医師の皆さんから、別々にしたほうがスムーズではないかという意見が多かったので、予診と接種は別々に行う方向で医師会と協議を行い、今月中にそれを決定したいというふうに思っています。

そのほかにもいくつか課題が浮き彫りになりました。まず一つ目は、脱衣所があったほうが良いということでもあります。私自身もワイシャツをまくり上げたんですけど、ずいぶん肩の高い所が接種位置なんです。そうすると、まくり上げられないということですし、また女性の方も着ている服によっては、そのあたりが難しいという意見もありましたので、脱衣所を用意したほうが良いということでもあります。したがって、会場のレイアウトを見直して、全ての集団接種会場に接種室の前に脱衣スペースを設けることにしました。

二つ目は緊急対応フローを作成するということでもあります。アナフィラキシーとか、いわゆる副反応の発生が起これ、緊急に対応しなければいけないということだと、会場内の医療従事者をすぐに全員、素早くそこに移動する必要があります。そこで緊急対応フローを作り、従事者で情報を共有するとともに、医師が経過観察場所にすぐ駆けつけられることができるような会場レイアウトにしていきたいと思います。訓練をやってみて、たいへん使い勝手のいい会場に、より改善できたというふうに受け止めております。

◆中日新聞

関連して脱衣所のスペースなんですけど、これ、全会場で設置できそうなんです。

◆市長

集団接種の会場は、できそうです。

◆中日新聞

もう一つ、続いてなんですが、市が共催になっている静岡まつりが近く、2日に始まると思うんですが、市長も最初は冒頭おっしゃっていたように感染者がだんだん増えつつある状況の中で、対策というのはどういうふうにされていくのかということと、クラスターということとは起こり得ないのか、そのへんをどう考えていらっしゃるかを教えてください。

◆市長

この静岡まつりを開催決定したときと数字が少し変わってきているということは事実ですので、こここのところ、感染防止対策をきちんと講じながら注意深く実施していくということに尽きるだろうと思います。2つのLifeを守っていくというぎりぎりの心がけをしていかなければいけないと思います。具体的な静岡まつりの感染症対策としては、まず、お祭りの全体像を見直しています。ご存じのとおり大御所花見行列は開催を中止したわけですが、夜桜乱舞は呉服町通りと七間町通りに限定して、規模を縮小しての開催であります。この開催の時間についても、例年までは21時まで踊ってもらうわけですが、今回は20時までと短縮いたしました。

さらに今回は駿府城公園をメインの会場と設定をしておりますが、この入場口には体温計とか、消毒の場所を設けて、通過した上で入場をしていただく、また、スタッフや来場者の皆さんには、もちろん、マスクの着用、手洗い、手指の消毒などへの協力をお願いしていきます。加えてスタッフが会場内における消毒を定期的に行い、特に飲食のスペースにおいては常時消毒を行っていききたいと思います。

総じて、実行委員会としては感染者を出さないように、できる限りの策を講じるというふうに報告を受けておりますので、市民の皆さんに対しましても、しっかり感染対策をした上でお祭りを楽しんでいただきますよう、お願いいたします。また、屋外の開催ではありますが、飲食の際には感染対策をした上で静かに楽しんでいただく、宴会で大騒ぎするというようなことがないように、市の職員で啓発のチームを作り、会場内を定期的に見回りを行うことも計画をしております。

◆中日新聞

新型コロナに関しては以上で、もう一つ、今、もう少しで投開票がある市議選についてなんですが、市長のスタンスを伺いたいんですが、自民党の会派の方たちが立場的に近いのかなと思うんですが、特定の候補を応援したりとか、どんなふうな立ち位置でいらっしゃるんですか。

◆市長

これは要請に応じて、そして公務優先でありますけれども、応える限りのことはやっていきたいと思っておりますけれども、残り3日でありますので、それぞれの候補、万全の態勢でやっていると思っておりますので見守っていきたいと思っております。

◆中日新聞

これまでに応援に駆けつけたりとか、これからそのような予定っていうのはあるんですか。

◆市長

要請に応じて事務所に陣中見舞い行ったり、ということはしてまいりました。

◆中日新聞

それはどちらの候補者の所に？

◆市長

それは、お調べください。

◆中日新聞

もう一つなんですが、投票率の低さが、だんだん低下していると思うんですが、投票率を向上のために市でやっている取組であるとか、市長として市民に呼び掛けたいこと、何かありますでしょうか。

◆市長

ぜひ投票していただきたいとお願いします。そのために私たちも、選挙管理委員会事務局スタッフ総出で投票率の向上に向けて、さまざまな工夫を今凝らしているところです。ご承知のとおり目下、期日前投票が行われていますが、その開設の時間、場所(注：正しくは期間)、拡充しております。これによって市民の皆さんが投票に行く時間を作りやすくなることを願っておりますし、また3密を避けるような結果にもなりますので、ぜひ期日前投票を利用していただきたいというふうにお願いをいたします。私も今日、期日前投票をするつもりであります。また実績として申し上げますと、24日までの期日前の投票状況は前回選の約1.3倍、既に25,404名の有権者が投票に来てくださったという報告を受けております。

一方、これは選挙管理委員会の職員有志が考え出してくれた工夫ですけれども、お手元にこのチラシ配付されておりますか、これ、お願いして大学生の手作りであります、市内



の全小学校を通じて約35,000枚、今、配布しております。お子さんを通じて、お父さん、お母さん、家族の方々にこのチラシを渡すということによって、「やっぱり投票って行かないといけないな」と、4年に1回、このまちの将来を決める選挙だから参加してみようというふうに思ってもらえる動機付けができるような、そんな工夫をした、「この手紙、なあに？」という優しい書き方で投票率アップを意図していこうというふうに工夫をいたしました。小学生にもわかるような、興味を持ってもらえるような、そんな工夫がなされたチラシであります。

また、一方、広瀬アリスさんを使ったこのポスターで若い方の注目も集めております。このポスターを欲しいという問い合わせも、ずいぶん若い方からあるようでありますので、そういうことが投票行動にもつながればうれしいなというふうに思っています。このポスターは静岡商工会議所等をお願いして、加盟の企業、事業所に貼っていただくように、そして、従業員、社員の方々に啓発できるように、今、手配を済ませております。前回選、どうして投票に行かないかという理由を検証してみたところ、仕事が忙しくて行けないという理由が多かったんです。ですから、その仕事場所に、投票には行くべきだよということを会社の社長さんから、上司から言われれば、その時間を取ろうかということにもなるのではないかなという期待もあります。「今こそ投票へ」ということで、ぜひ、新聞等を通じて残り3日でありますけれども、また、記事を書いていただければうれしいなと思います。

◆中日新聞

ありがとうございます。幹事社からは以上です。

◆司会

それでは、ただいまの幹事社質問につきまして、ご質問がある方いらっしゃいますか。先にSBSさんお願いします。

◆SBS

お世話になります。今月から市政に戻ってきました。よろしく願いいたします。

◆市長

よろしく願いいたします。

◆SBS

静岡まつりを前に、県の発表ですと静岡市の感染経路不明者が45%台ということなんですけれども、まつりになりますといろんな方が来られると思いますが、まつりを前にこういった現状について、市長としてはどういった見解といたしますか、思いがあれば教えていた

だけますか。

◆市長

とにかく“生命”と“暮らし”を守ることが基本的な考え方ですので、まつりは開催するという事に私たちは後押しをします。一方で、実行委員会の皆さんにも、楽しむ市民の皆さんにも、しかしながら、感染対策はきちっとやってくださいということも、精力的に伝えていきたいなというふうに思います。ただ、ここ2、3日数字が出ているというふうに申し上げましたけれども、ずっとこの半年の数字を見ると、どうしてもメディアの皆さんというのは、「今、今、今」ということで報道しますけれども、例えば、第二波のとき、昨年12月の最初は10万人あたりの新規感染者25人を超えていたんです。それがぐっと下がって、下がって、それで成人式できるかもしれないという判断になったんです。5人以下になったんです。だけど、それがもう少し、年末クリスマスから上がったものだからオンラインの開催を決定したという経緯だったんです。でも、そのとき下がって5人ぐらいになったら、新規感染者が10万人1人当たり、成人式、行けるんじゃないかというのが、あのときの判断なんです。25人でしたから、今は高くなったといっても4.8人なわけです。つまり0.6人でしたので、前々週は。そういう流れの中では、今、まつりを気をつけながら開催して、リバウンドを起こさせないということとの両立ということが、本当に、静岡市民の皆さんは節度のある行動をしてくださっていると、私は信頼しておりますので、いけるのではないかなというふうに思っています。

◆SBS

あともう一つだけすいません。駿府城公園もうすぐ満開桜迎えますけれども、花見での宴会の定義といいますか、看板が園内でも設置されていると伺いました。市長としてはそういった呼び掛けも含めてどういうふうに控えていただきたいとか、どういうふうに楽しんで、楽しんでもらうって言葉が的確かわかんないですけども、今年ならではといいますか、そういった認識としてはどういうふうにお考えなのかをお願いします。

◆市長

人数を絞って静かに楽しんでくださいというふうに申し上げます。

◆SBS

何人とかではなく、とにかく静かに楽しんでもらいたいという認識で…

◆市長

そうですね。お酒が入りますと気が大きくなりますので、大人数で大騒ぎをするということはクラスターの発生の要因になりますので、そこのところは、ぜひ、今回は辛抱してほ

しいということです。

◆SBS

ありがとうございます。

◆司会

そのほかいかがでしょうか。NHKさんお願いします。

◆NHK

NHKです。わが社ごとで恐縮ですが市議選についてインターネットを使って、市民1,000人にアンケートを取りましたところ、いろいろ伺ったのですが、「市議会に市民の声が反映されていると思いますか」という設問に対して、「反映されている」と、「どちらかといえば反映されている」を足したら18%程度、「どちらかといえば反映されていない」と「反映されていない」を足した答えが48%程度で、「反映されていない」という声はかなり多いのが目立ちまして、世論調査のような精緻なものではないのですけれども、一定数、こういった市民の声が市議会に反映されていないという意見が強い様子であることについて、市長もどういう見方をされているか、お聞かせいただけますでしょうか。

◆市長

精力的に調査していただき、ありがとうございました。広報課を通じて私のところにもその資料が届いております。拝見させていただき、たいへん参考になりました。どうもありがとうございました。おっしゃる趣旨、よく私もわかります。本来ならば選挙、いろんな選挙ありますけれども、一番私たちの生活に直結する身近な代表を選ぶ市議会議員選挙ですから、もっともっと関心を持っていただきたいし、投票率も上がってしかるべきですし、そういう市民の代表者を通じて自分の思いが反映されているなという実感を持ってもらいたいなと願っています。

◆NHK

市長の感覚とは一致しますか。市議会に市民の意見反映されていないのではないかという声が多いことは。

◆市長

行政の長とすると、二つのベクトルがあると思うんです。市民の声を市議会議員さんを通じて私のところに吸収するという機能と、そして、私は市長という立場ですので、今だけではなくて遠い将来、中長期的な目線、あるいは静岡市、区が三つありますけれども全体を見据えて大局的に「こうあるべきだ」ということをちゃんと伝えていって、ご理解を求

めるということと、そのコミュニケーションというのが大事で、その媒介になってくださるのが市議会議員の皆さんだというふうに思います。

◆NHK

あと、これ私の取材実感で申し訳ないんですけども、これまで市長を支えてこられた会派の議員さんにご様子を伺うと、複数の議員さんから、これまで静岡市の方針を支えてきたことが、この選挙で少なくともプラスにはなっていないという実感の声が聞かれるのですけれども、こういったことはどう受け止めてらっしゃいますか。

◆市長

やはり民主主義ですから、いろんな多様な意見があろうかと思えますで、その意見が多数であろうと少数であろうと私は受け止めるという姿勢を大切にしたいと思っています。

◆NHK

わかりました。ありがとうございます。

◆司会

そのほかいかがでしょうか。幹事社質問につきましていかがでしょうか。よろしいでしょうか。ここで申し訳ありません、事務方から、先ほどの説明の修正と補足をさせていただきます。

◆交通政策・Ma a S担当部長

先ほどお話しをしました、ワクチン接種移動支援事業、らくタク事業の予算措置の関係ですけれども、私、先ほど当初予算でというお話でしたんですけども、地方創生臨時交付金の補正予算で予算措置させていただくということで…

◆NHK

これから議会上程するという意味ですか。

◆交通政策・Ma a S担当部長

今、財政調整をやっております。

◆市長

局長、答えて。

◆都市局長

都市局長です。ワクチンの接種事業の一環としてやっておりますので、2月の補正予算のほうで、保健福祉のほうで取っている予算を交通のほうで一部使用するような形というか、ワクチン接種事業の中で行うということです。ですので、2月補正、取っているということでございます。

◆NHK

2月補正にそういう項目はなかったと思いますが、利用できる所があるんですか。

◆都市局長

ワクチンの接種事業の一環です。

◆NHK

その中で弾力的に運用できるお金があって、それを充てると…

◆都市局長

そうです。その国の予算です。

◆NHK

わかりました。ありがとうございます。

◆保健予防課

保健予防課長です。一番最初にご質問のありました4月に供給される2,000人分のワクチンの件ですけれども、医師が常駐している施設については、ご指摘のとおり介護医療院と介護療養型医療施設、これはそれぞれ1施設ずつございます。加えて介護老人保健施設、老健といわれる介護老人保健施設が23施設ございます。これらの定員を合計しますと、3,000人になりますので、4月に届くワクチンが約2,000人分ということで、3,000人に足りないものですから、また5月以降、安定供給された段階で、順次、接種のほうをしたいと考えております。

◆司会

それでは、そのほかのご質問を皆さんからお聞きします。テレビ静岡さんお願いいたします。

◆テレビ静岡

無料通信アプリのLINEの利用者情報が中国の関連企業から閲覧できるようになってい

た問題で、静岡市のほうで現状、行政手続きですとか、情報発信でLINEが使われていることというのはあるのでしょうか。

◆市長

あります。確認できているところでは7課です。このことについては、私たちも注視しています。総務省からも通知があったんです。そこで、私たちLINEの利用状況について市独自の調査をしました。いずれも市政情報の発信、またはスタンプの販売でありました。個人情報を集める運用は行っておりませんので、そのところをご安心ください。

◆テレビ静岡

そうすると情報発信というところのみで、例えば利用者の口座情報とか身分証とか、そういうやり取りはしていないと。

◆市長

おっしゃるとおりです。例えばライフラインとして災害時等の職員間の情報の共有化であるとか、委託事業者との連絡手段等で使っているということもありますが、決して、個人情報のやり取りは行っておりません。

◆テレビ静岡

そういう意味では、今後、その運用を再検討するとか、そういう予定はありますか。

◆市長

はい。注意深く、これは国とも連動しながら悪用されることがないかどうか、対処していきたいと思っています。

◆テレビ静岡

何かしら検討はされる？

◆市長

そうですね。総務省内に個人情報調査委員会が設置されています（※）ので、その議論も見据えた上で間違いのない対応をしていきたいと思っています。

※正しくは「個人情報保護委員会」。個人情報保護委員会は内閣府の外局として設置された委員会です。

◆テレビ静岡

わかりました。ありがとうございます。

◆司会

そのほかいかがでしょうか。中日新聞さん、お願いします。

◆中日新聞

お願いします。高橋雨水ポンプ場の件で、改築費を3月中旬に確定するという話が、2月の議会でありました。中旬は過ぎてしまいましたが、このあたりを…

◆市長

現課のほうからお願いします。

◆下水道建設課長

下水道建設課でございます。工事費につきましては、今後入札を控えているため詳細な額はお答えできませんが、約3,000万から4,000万としております。

◆中日新聞

これは市税で賄うということでしたよね。

◆下水道建設課長

はい。市費で賄います。

◆中日新聞

危険物製造所等設置許可書、着工に必要な許可書のほうは申請下りたんでしょうか。

◆下水道建設課長

それにつきまして、5つの危険物の許可を受けなければならないものがございまして、そのうち、3つにつきましては許可を得てございます。残り2つにつきましては、現在、申請中ということになってございます。

◆中日新聞

確認なんですけど、5つとも着工前に、そもそも提出しなければならなかったものだったんですよね。

◆下水道建設課長

はい。

◆中日新聞

改築ってことですけど、すでに造ってしまった部分で壊す部分もあるんでしょうか、これって。

◆下水道建設課長

壊す部分はないと考えております。

◆中日新聞

そのあたり、これまで造ったものは国費でやっているわけですけど、改築だったり、国交省のほうに説明はされているんですか。

◆下水道建設課長

全体のほうは、一番当初のほうにさせていただいております。

◆中日新聞

当初の？

◆下水道建設課長

当初というのは1月の末です。

◆中日新聞

担当は中部地方整備局のほうになるんでしょうか。

◆下水道建設課長

そのとおりでございます。

◆中日新聞

あと、計画の初期段階からすでに消防との認識が違ったと、下水道建設課のほうは強調されていますけれども、そもそもの話なんですけど、何のための許可という認識だったんでしょうか、なんでポンプ場を造るのに許可が必要だと下水道建設課は考えていらっしゃるんですか。

◆下水道建設課長

危険物の許可申請を取らなければ危険物の設置ができないということで許可を得ていかな



ければならないと考えてございます。

◆中日新聞

それをなんで建ててしまったのかというのが、内部調査やっているということですが、そこ、散々つっこみたいところでして…

◆下水道建設課長

細かい内容につきましても、内部調査のほうで全ていきますので、その結果がまとめ次第、また報告をさせていただきます。

◆中日新聞

これ、3月末までにまとまるんですか。

◆下水道建設課長

その予定で行っております。

◆市長

ありがとうございます。私、この件とても重要視して、なんでこういうことが起こってしまったのかという反省をしております。検証もしていかなければいけないと思って、今、指示を出したところであります。現課の職員の情報がきちっとスムーズに上に上がっていたかどうかという組織の問題もありますし、今回のことを一つの教訓として改善するように努力してまいります。

◆中日新聞

最後に、少し話が飛躍するかもしれないんですけど、総務省の接待問題みたいに、こういうのは外部の調査が、第三者の目が非常に大事だと思うんですが、その調査を依頼するというか、立ち上げる予定はないんでしょうか。

◆市長

今は内部で調査をさせています。その報告を私がまた管理者とともに見て、そして、議論して、また、それで納得ができるものなのか、市民の皆さんに対して説明責任を果たせるものなのかどうか、判断してまいりたいと思います。

◆中日新聞

わかりました。

◆司会

そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で本日の市長定例記者会見を終了させていただきます。次回は4月9日、金曜日、11時からの予定となっています。本日はありがとうございました。